

2020年日本民間放送連盟賞 中部・北陸審査会 報道部門

1位通過 決定！
がらくた ～性虐待、信じてくれますか～



2020年日本民間放送連盟賞 中部・北陸審査会の審査結果が本日発表され、
中京テレビ制作『がらくた ～性虐待、信じてくれますか～』が報道部門において1位通過しました。

■ 1位通過作品

番組

がらくた ～性虐待、信じてくれますか～

News Release

□番組内容

小学3年生から20代前半までの、実父からの性暴力被害の記憶に苦しみ続けている、なみさん。当初顔は出したくない、と話していた彼女でしたが、後日こんなメッセージが届きました。「モザイクかけちゃうと、被害者Aさんになってしまうかなあって感じて」。そして取材を受けた理由についてこう語りました。「回復の仕方をテレビで見せられたらいいなって思う。性被害は過去にならない、ずっと泣いている人が1人でも減ればいい」。声を上げられない多くの被害者を代表して、自らの姿を晒す覚悟を私たちは感じました。

取材が始まると、性暴力被害の苛烈さを、何度も目の当たりにすることになりました。フラッシュバックが起き過呼吸に。抑うつ状態となり、起き上がれない日も。

さらに、過去の記憶を「上書き」する行為も。身に着けていた下着を男性に売ることで、自分を必要とされる感覚を得たい。実父に触れられ傷つけられた記憶を性行為で上書きするため、風俗店に勤めたこともありました。いずれも想像し難いものでしたが性暴力被害者にとって珍しいことではないといいます。回復を目指す彼女にとって、鍵となる存在は母親。過去に父親からの被害を訴えたとき、黙っているように言った母親でしたが、それでも信じてもらいたいと考えていました。母親は、性虐待を信じてくれるのか。なみさんは絶縁状態となっていた母親のもとを訪ねます。しかし、母親は否定も肯定もしませんでした。

最後に彼女は問いかけます。「性虐待があったと信じてくれますか?」。その言葉は、性暴力被害者たちから社会への問いかけのようでもありました。

□製作著作 中京テレビ

【お問い合わせ】

中京テレビ放送株式会社 編成部 広報担当